

ジェンダー平等 推進部門便り

2026年7月31日発行

神戸大学インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンタージェンダー平等推進部門 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 Tel: 078-803-5471/5017

理事退任のご挨拶

神戸大学名誉教授

奥村 弘

2026年3月31日の退任まで5年間、ジェンダー平等担当の理事として、男女共同参画推進室、さらに改組によって生まれたインクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンターのジェンダー平等推進部門を担当させていただきました。

ジェンダー平等にむけて、大学がどのような形の活動を進めていくべきか、担当になるまで大学全体の施策について、具体的に考えたことがありませんでしたが、男女共同参画推進室の室長を務められていたアレキサンダー・ロニー教授や、後にジェンダー平等推進部門長を務められた故野田和恵教授をはじめ、多くの関係者の皆様と次々生まれてくる具体的な課題に対応する中で、大学におけるジェンダー平等の重要性を学びました。アンコンシャスバイアスについて、しっかりした議論の中で、その問題点を大学人が共有していくことが、極めて大切であることを話し合ったことは、今でも忘れられません。

2018年12月に策定した「神戸大学ダイバーシティ推進宣言」で、私たちは、ジェンダー、性的指向・性自認、エスニティ、文化、宗教、言語、出自、年齢、学歴、心身の特徴などの属性や特性にかかわらず人間として尊重し、それぞれの個性や能力を発揮できる学習・教育・研究・就労環境を整備することを宣言しました。

今後も様々な課題に直面していくと思いますが、ジェンダー平等推進部門とその関係者の粘り強い活動にご支援のほど、よろしくお願いいたします。



理事就任のご挨拶

神戸大学理事・副学長

玉岡 雅之

2026年4月よりジェンダー平等担当の理事となりました玉岡雅之です。同時に女性リーダー育成推進室長も拝命いたしました。

本学はこれまでも多様な人材が輝く環境づくりに努めてまいりましたが、現在は文部科学省の事業採択を受け、女性リーダー育成推進室を設置し、学長直下の強力な体制のもとで「ADRES (アドレス) サイクル」に基づく次世代の女性リーダー育成を全学的に推進しています。私たちが目指すのは、単に数値目標としての女性比率を達成することではありません。登用・育成・定着・意識改革の循環を通じて、これまで当たり前とされてきた固定観念や目に見えない壁を取り除き、誰もがその潜在能力を最大限に発揮できる未来を目指すことです。ジェンダー平等を推進するということは、一歩を踏み出そうとする人の背中を押し、ライフイベントに左右されずにキャリアを追求できる環境を整えることにつながります。そして何より女性リーダーの形は一つではありません。周囲を牽引する強さ、他者に寄り添う優しさなど、多様なリーダー像があって当然であり、その違いこそが教育・研究をさらに豊かにする強みとなります。

人はみな一人ひとり違っています。生まれ育った環境、ライフスタイル、価値観、そして目指すキャリアの形も、それぞれの人は違っていても当然であり、まずはその違って個々の存在を互いに尊重し合うことが何よりも大切です。

そのような多様な背景を持っている皆様の率直な声に耳を傾け、一人ひとりが自分らしく輝けるキャンパスを築くため、一歩ずつ仕事を進めてまいります。ジェンダー平等推進、および女性リーダー育成推進室の取り組みへのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



ジェンダー平等推進部門 副部門長退任のご挨拶

システム情報学研究科・教授

桔 梗 宏 孝



前年度の3月末をもちましてジェンダー平等推進部門の副部門長を退任いたしました。在任中はジェンダー平等推進部門のみなさまから多大なるご指導と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。振り返りますと、私にジェンダー平等推進部門の副部門長就任の依頼がまいりましたのは、男女共同参画推進室協力教員の経験があったからだと思えます。当時、「小学生のためのサマースクール」に協力したことを思い出します。当部門は当初の「室」から現在の「部門」へと組織改編が行われました。この引き上げは、単なる名称の変更ではないと思えます。本学におけるジェンダー平等や多様性の確保が、大学運営や教育研究の根幹に関わる最重要課題として位置づけられた証しであると確信しております。神戸大学が時代を先導する大学としてさらに発展していくために、当部門の果たすべき役割と責任は、年々その重みを増してきていると強く実感する日々でした。このような重要な転換期に、副部門長として微力ながら組織の基盤作りに携わることができたことは、私にとって大きな誇りであり、貴重な経験となりました。至らない点多々あったかと存じますが、中原主任政策研究職員をはじめ、部門の人たちに助言をいただきながらなんとか役目を果たすことができました。現在の体制のもとでも、本学のジェンダー平等推進の取り組みがさらに加速し、より実り多きものとなることを確信しております。

最後になりますが、ジェンダー平等推進部門のますますのご発展を祈念しております。ありがとうございました。

開催報告



令和8年度 神戸大学輝く女性研究者表彰 授賞式・学長懇談会



7月16日、令和8年度神戸大学輝く女性研究者表彰授賞式を大会議室にて行いました。「神戸大学輝く女性研究者表彰」は、文部科学省 科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の本学採択事業「ADRES サイクルによる輝く女性リーダー活躍促進プログラム」の取組の一環として、今年度新たに創設された表彰制度です。優れた研究成果を挙げ、今後のさらなる活躍が期待される女性研究者を表彰することで、女性研究者のキャリアアップを後押しするとともに、本学の女性研究者のロールモデルとすることを目的としています。

応募者について、本表彰の趣旨への理解、研究内容、研究業績、研究者としての将来性などを総合的に審査した結果、若手教員部門および院生・ポスドク部門の各部門から1名ずつ受賞者が選ばれました。受賞者には、藤澤学長より、表彰楯及び副賞の研究費が授与され、受賞者はそれぞれ受賞の喜びや今後の抱負を述べました。

授賞式に引き続いて学長室で開催された学長懇談会では、受賞者が自身の研究内容や今後の展望について説明し、学長と活発な意見交換が行われるなど、終始和やかな雰囲気の中での懇談となりました。

令和8年度 神戸大学輝く女性研究者表彰 受賞者

若手教員部門：数理・データサイエンスセンター 准教授 伊藤真理

院生・ポスドク部門：医学系研究科 日本学術振興会特別研究員（PD） 西尾麻里沙



学長室にて（左より西尾特別研究員、藤澤学長、伊藤准教授）



学長懇談会の様子

国際共同研究 PI 養成プログラム 研究報告

Report

2025

本研究では、日本の伝統的な振り織（もじりおり）技法である絡み織と、西洋の類似構造である Leno weave を比較し、「振る（よじる）」織構造がもつ技術的・文化的意義を再検討しました。2025 年 11 月 16 日から 11 月 28 日にかけてオランダへ渡航し、アイントホーフェン工科大学（TU/e）の Kristina Andersen 氏らと共同研究を進めました。現地では、デジタルジャカード織機 TC2 を用いた試作や Textile Lab・Textile Museum での調査を通じて、織組織だけでなく素材や教育・産業的背景も含めた総合的な比較の視点を得られました。これにより、絡み織を日本固有の技法として閉じるのではなく、国際的な比較可能性をもつ構造技法として再評価する道筋が見えてきました。

その後、2 月 14 日から 20 日には Kristina 氏が来日し、神戸大学で議論や試作を重ねました。なかでも、「感性」を大切にする Kristina 氏の新しいデザイン観に触れたことで、議論は織物という共通項を超えた研究の方向性にまで広がりました。来日を起点に研究者や学生の交流も続き、一過性で終わらないネットワークが形成されつつある点は本プログラムの大きな成果です。さらに印象的だったのは、同じ女性 PI の立場にある研究者との対話です。子育てと研究の両立をはじめ、女性研究者に共通する悩みが国を越えて存在すると実感し、率直に意見を交わせたことは大きな励みとなりました。

今後は研究成果を論文・学会発表・教育素材へと展開し、形成された協働関係を継続的な国際共同研究へ発展させていきたいと考えています。

人間発達環境学研究科
准教授 上田 香

■ 支援期間

2025/7/22 ~ 2026/2/28

■ 共同研究者所属機関

アイントホーフェン工科大学
Eindhoven University of Technology



TU/e で知られている工科大学。広々とした校内では学生がオープンにディスカッションしていた。

子育ても！
研究も！

男性研究者のワークライフバランス

藤 本 龍

農学研究科
教授

子育てを楽しみつつ、研究では目に見える成果を

妻が遠方へ通勤しているため、平日の朝は私より早く出勤し、帰宅も私より遅くなる日が続いています。そのため、私は毎朝、子どもの朝食の準備や学校への送り出し、洗濯物干しを行い、それが日課となっています。夕方は 17 時 30 分から 18 時頃に帰宅し、そこから夕食を作っています。30 代の頃は自分の研究時間を多く取る必要があったため、妻の帰宅後、子どもの寝支度が終わってから研究室に戻り、研究することもよくありました。しかしここ 5 年くらいは、業務が終わらない場合は、自宅でデスクワークを行うことが多くなっています。日々、淡々と目の前の仕事を積み重ねることが大切だと考えています。ここ 5 年くらいは、常に何かしらの締め切りに追われており、幸か不幸かその締め切りをこなすことで自然と仕事が前に進んでいく状況が続いています。

私は大学教員を志した原点として研究を楽しみたいという思いがあるため、楽しみながら研究をすることを大切にしてきました。そして大学生にも、研究の楽しさを感じてもらいたいと思っています。もちろん、子育てが大変であっても、研究者としての評価に配慮されるわけではありません。そのため私は、子育てが大変な時期だからこそ、意識的に目に見える結果を出すことを重視してきました。一方で、子育てが最も大変な時期に、大学教員が研究を継続し成果を出せるように支える仕組みは、非常に重要だと考えています。私自身は、子どもの手がかかる時期を終えつつありますが、その時期は大変でありながらも楽しく、かけがえのない時期でした。この貴重な時間を誰しもが充実して過ごせるよう、十分な予算を確保し、サポートする側の都合ではなく、利用する側が「本当に意味がある」と感じられる支援体制が一層整備されることを期待しています。



プログラムを活用した女性研究者インタビュー集「Glow up!」を刊行しました



女性リーダー育成推進室では、女性リーダーの登用・育成・定着と意識改革を推進する女性リーダー育成事業の一環として、このたび女性研究者 12 名を紹介するリーフレットを刊行しました。本リーフレットは、同事業の女性研究者支援プログラムを活用し、それぞれの分野で活躍している女性研究者へのインタビューを収録しています。

研究成果の発信や国際共同研究の推進、大学運営と教育研究の両立、ライフイベントからの復帰など、それぞれの経験や挑戦、それを支えた制度や工夫について紹介しています。一人ひとり異なるキャリアの歩みからは、各種の支援制度を知るきっかけが得られるだけでなく、これから研究活動やキャリア形成に取り組む若手研究者や学生にとっても、多くのヒントが見つかる内容となっています。冊子をご希望の方は、ジェンダー平等推進部門／女性リーダー育成推進室までお問い合わせください。



▶リーフレット https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/opwl/book/index.html#target/page_no=1

2026 年度 第 1 回 おしゃべりカフェを開催しました

いくつかの大学で、LGBTQIA+ 当事者をはじめとするすべての人が、ジェンダーやセクシュアリティについて安心して話せる場所「セーフアースペース」の設置が進んでいます。神戸大学では、昨年度から定期開催している「おしゃべりカフェ」を通じて、この「セーフアースペース」づくりを試みています。

今年度の第 1 回は、7 月 2 日のお昼休みに、最近 1 階にバーガーキングがオープンした瀧川記念学術交流会館の 2 階で開催しました。大きな窓から差し込むやさしい光と、窓外に広がる木々の緑に包まれて、ホッとするひと時でした。今回は「キャンパスでこんなことができれば素敵だね!」というテーマに縛られることなく、参加者 8 名で自由に楽しいおしゃべりを展開しました。次回は 11 月 5 日(木)に開催予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております!

第 2 回 おしゃべりカフェ

開催日 11 月 5 日(木)

・時間 / 11:30 ~ 13:30 (出入り自由) ランチをご持参ください

・場所 / 六甲台第 2 キャンパス 滝川記念学術交流会館 [小会議室]

お・知・ら・せ

多様な性・ジェンダーに関する相談窓口のご案内

ジェンダー平等推進部門では、神戸大学構成員の皆様の多様な性・ジェンダーに関する相談に対応しています。プライバシーは厳守しますので、気になること、悩み、質問などありましたら、こちらの QR コードからご相談ください。

多様な性・
ジェンダー
に関する
相談窓口



多様な性・ジェンダーに関する研修動画のご案内

神戸大学 ICHC センター 多様な性・ジェンダーに関する構成員向け研修作業部会が、「多様な性・ジェンダーに関する研修 知識と理解編～多様な構成員が活躍できる環境づくりをめざして～」を制作いたしました。

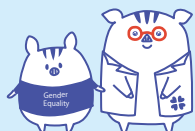
多様な性・
ジェンダー
に関する
研修動画



ダイバーシティ教育プログラム動画のご案内

ジェンダー平等推進部門では、男女共同参画の推進に向けて教育プログラム(e ラーニング)を作成しました。学内限定で公開しています。ぜひご活用ください。

ダイバー
シティ教育
プログラム
動画



ジェンダー平等推進部門にご意見・ご要望がありましたら、ホームページのご意見箱(学内限定)にお寄せください。皆さまからのお声をお待ちしています。

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/contact/contact-limited/index.html>

